

# ぐんぐん夢プラン ふり返りアンケート



2学期号

<発行日>令和7年3月吉日 <発行者>京都市立大將軍小学校長 金子 真也  
TEL 075-461-4310 http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daishougun-s/

学校教育目標 自他ともに大切にし 未来に向かって努力し続ける子

## 令和6年度 2学期ぐんぐん夢プランふり返りアンケートから

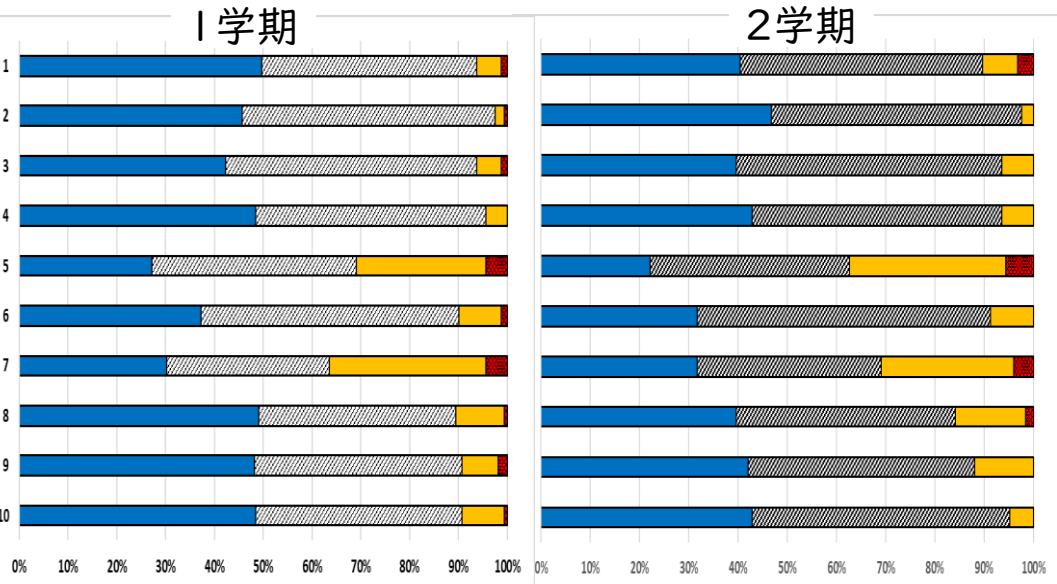
12月に今年度2回目のふり返りアンケートを保護者の皆様と子どもたちに実施いたしました。前回に引き続き、オンラインでのアンケートになりましたが、8割の回答率でした。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。

結果をまとめさせていただきました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思います。

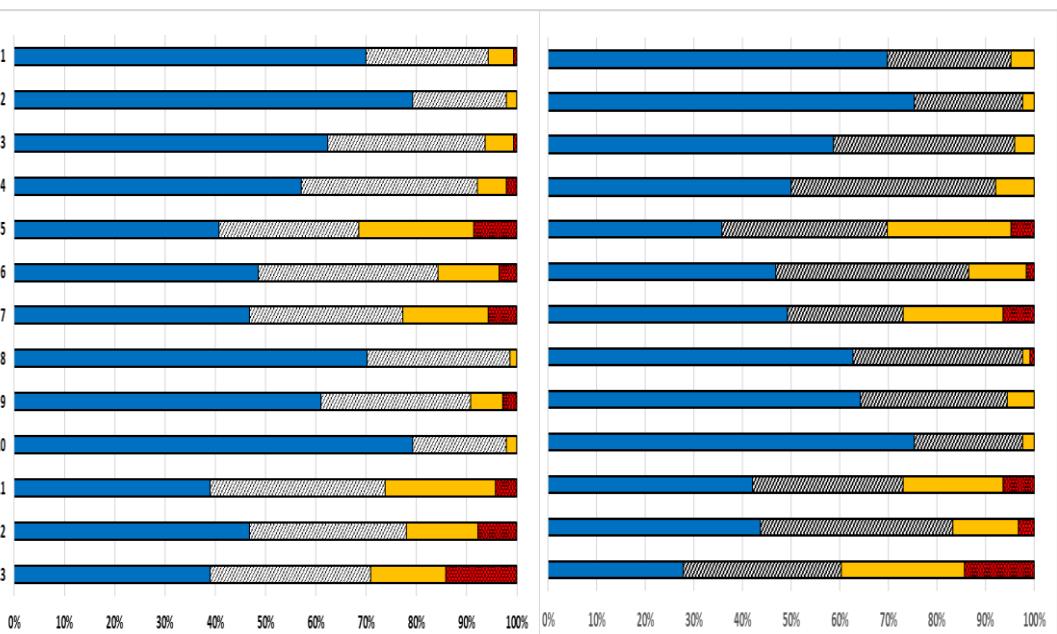
### 学校や学習のことについての質問

#### 【保護者】

できている	したい できている	あまり できていない	できない ない
-------	--------------	---------------	------------



#### 【児童】



### ○保・児【質問2・3】

1学期とくらべてほぼ横ばいの結果ですが、「できていない」の項目は1学期よりも少なくなっています。教職員が指導法の工夫や改善を続けてきた結果だと考えています。日々の授業が「わかる」ことの積み重ねが毎日の学校生活が楽しいことにつながります。教職員一同、日々の授業の充実、児童に寄り添った指導をこれまで以上に図っていきたいと思います。

### ○保・児【質問6】

児童の「忘れ物をしないように準備をしている」という項目で1学期より「できている」が高くなっています。保護者の「子どもが忘れ物なく学習準備をする習慣が身に付くようにはたらきかけている」項目も「できている」数値が高くなっていることから、ご家庭でもはたらきかけていただいていることに感謝申し上げます。特に低学年段階では、大人のはたらきかけは欠かせません。お忙しい中ですが、翌日の時間割と一緒にしたり、翌日の持ち物の確認を一緒にしていただいたりすることで望ましい習慣形成がされていくと思います。

### ○保【質問10】

日々の授業の様子を学校ホームページやお便りの中で積極的に発信を行ってきました。学年によって差はあるもののホームページについてはほとんど毎日更新がされています。教職員は日々の授業準備など業務の合間にホームページ更新を行っています。ぜひご家庭での会話の1つにしてください。また、毎月、すぐーるを通して配信している学校便りなどにもホームページのリンクをつけるなどしてよりアクセスしやすい環境を整えていきます。

### ○児【質問12】

「自分のいいところをほめてもらっている」という項目は、「できている・だいたいできている」あわせて1学期より8%高くなっています。大人が児童の姿を認め、褒めることは質問項目11「自分のいいところが言える」という部分にもつながります。また、子ども達同士がお互いに認め合い学校生活をおくるためにも大人が褒めるということは1つのモデルとなります。児童が頑張った結果だけでなく、やろうとしている意欲も認め児童のやる気を高めていきたいと思います。

### ◆保・児【質問1】

保護者・児童ともに90%以上肯定的な評価でしたが、保護者の方では1学期とくらべて4%程「あまりできていない・できていない」が多くなっていました。授業だけでなく、2学期は多くの学校行事もあり、それが数値の落ち込みに影響していると考えられます。行事は多くの児童が達成感を味わうことができるのですが、そのためにも目的や目標を児童や保護者と共有しながら進めていきたいと思います。来年度も1つ1つの行事を大切にその学びを日常の学習や生活につなげていきたいと思います。

### ◆保【質問5】

「進んで発表するように励ましている」という項目については、1学期とくらべて5%ほど低くなっています。学んだことや自分の考えなどを他者に伝えたり、教えたりすることが学習の定着には最も効果的だと言われています。発表することは手を挙げるだけでなく、隣の友達に伝えたり、タブレットを通して表現したりと多岐にわたります。ご家庭でも頑張る子ども達の背中を押していただければと思います。

### ◆保【質問8】

「子どものことを学校や先生に相談しやすい」という項目では、1学期とくらべて5%程下がっています。教職員一同、この結果を受け止め、保護者の皆様と安心したつながりをもち、子どもたちの成長のために協力し合える関係となるよう努力していきたいと思います。

## 家庭のことについての質問

### 【保護者】

1学校のことについて子どもと話すようにしている。

2家で子どもと関わる時間をつぶしている。

3子どもは学校からのプリントを確実に見せている。

4すべて配信されているおたよりを確認している。

5子どもに宿題等の家庭学習の習慣が身につくよう働きかけている。

6子どもに掃除や家事の習慣が身につくように家で働きかけている。

7子どもはきちんと朝食を食べている。

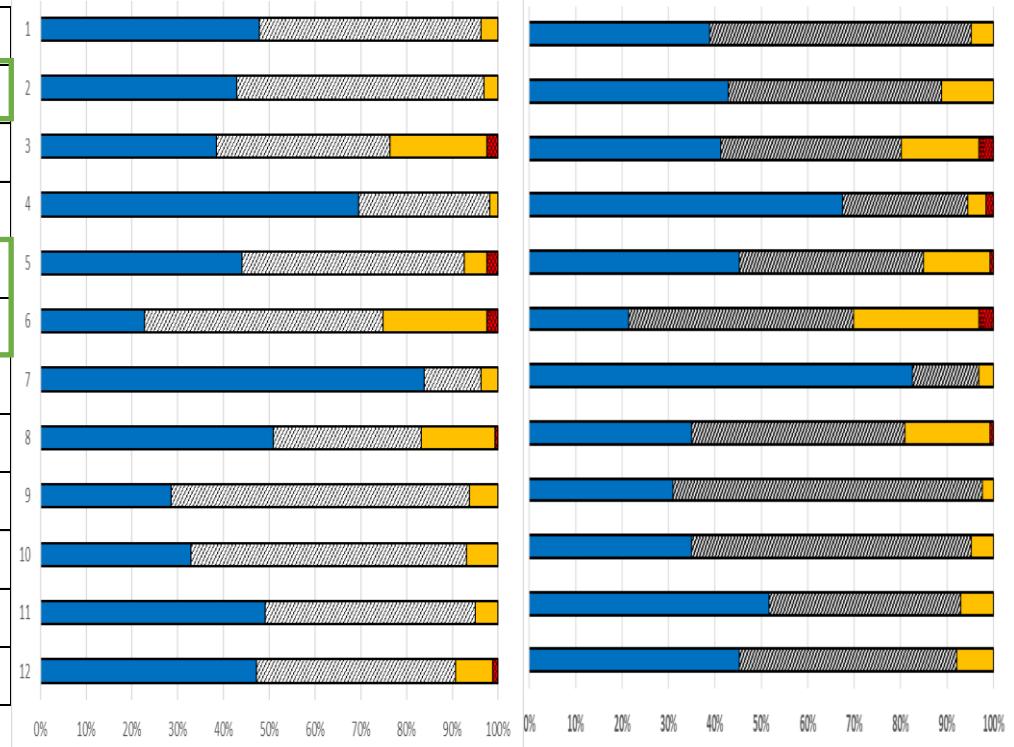
8子どもに早寝早起きの習慣が身につくように家で働きかけている。

9子どものお手本となるよう、規範意識(ルール・モラル等)をもって行動している。

10子どもが規範意識(ルール・モラル等)を高めるように話をしている。

11子どもが進んでいさつきするように、家でいさつきを大切にしている。

12子どもの良さを認め、ほめるようにしている。



### 【児童】

1家族に学校のことよく話す。

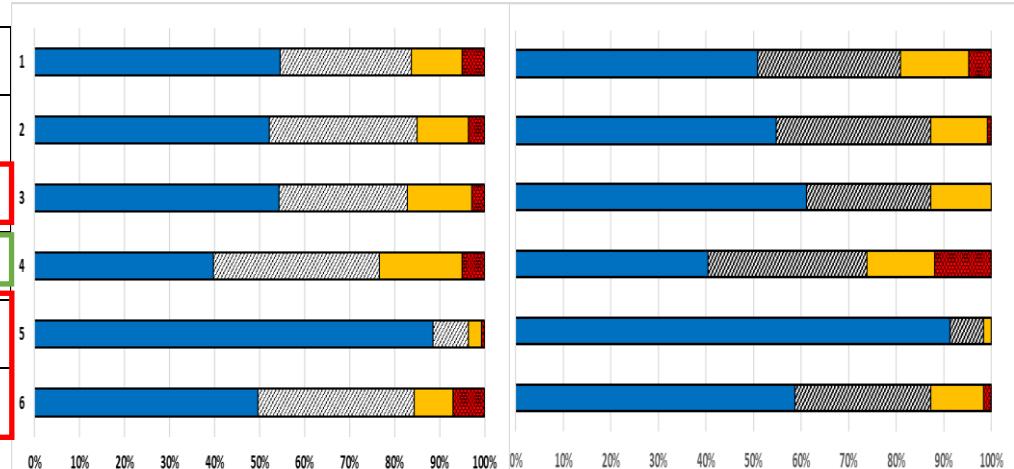
2学校でもらったプリントを必ずおうちの人人に渡している。

3家庭学習(宿題や自主勉強など)を自分から進んでしている。

4家のお手伝いをしている。

5毎日朝ご飯を食べて、登校している。

6毎日睡眠をしっかりとれている。



### ○保【質問5】・児【質問3】

「子どもに宿題等の学習習慣が身につくようにはたらきかけている。」では、「1学期にくらべて6%ほど下回っていますが、児童の「家庭学習を自分から進んでしている。」では、「できている」項目で7%高くなっています。学校経営方針にもある【確かな学力】「進んで学習に取り組む子」にもつながる部分で、児童が自ら課題などに取り組むことができるようになっていることを嬉しく思います。また、家庭学習については、内容について児童がしたいと思えるものにしなければなりません。特に学年が上がるにしたがって自分で課題を見つけ学習をすすめていく「自主学習」が重要となってきます。GIGA端末の活用と連動させて、どのような自主学習ができるのかを児童同士が学び合える場を設定していきたいと思います。また、「家庭学習」においては「決まった時間」に机に向かえるようにすることが「学習習慣形成」の第一歩です。読書と並行してご協力お願いします。

### ○児【質問5・6】

「朝食を食べて、登校している」の「できている」項目で1学期より5%程高くなっています。また、「毎日睡眠をしっかりとっている」という項目においても1学期より高くなっています。子ども達の生活習慣に関して、ご家庭でも声掛けしていただいているのだと思います。高学年では、これらに加えて、1日をどのように過ごすか計画を立てる中で健康な生活をつくってほしいと考えています。

### ◆保【質問2】

「子どもと関わる時間をもつようになっている」で7%ほど1学期より下がっています。毎週、学校から「すぐーる」を通してクラスの様子をお伝えしています。お忙しい中とは思いますが、家庭での話題の1つに挙げていただき、お子達と関わる時間にしていただければと思います。

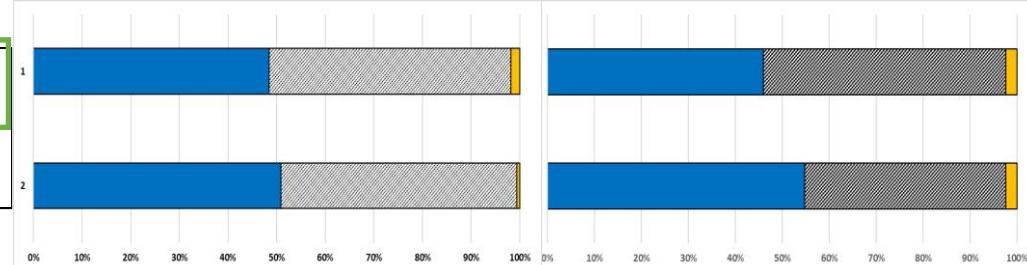
### ◆保・児【質問6・4】

「子どもに掃除や家事の習慣が身につくように家ではたらきかけている」と同様に「家でお手伝いをしている」「あまりできていない・できていない」部分が1学期より下がっています。自分に任せられた役割が家にあることは子どもたちの責任感だけでなく、やる気も育てることにつながります。また高学年だと、学習したことをいかす場にもなりますので積極的に家庭のお仕事に関わる機会を作っていただければと思います。

## 地域のことについての質問

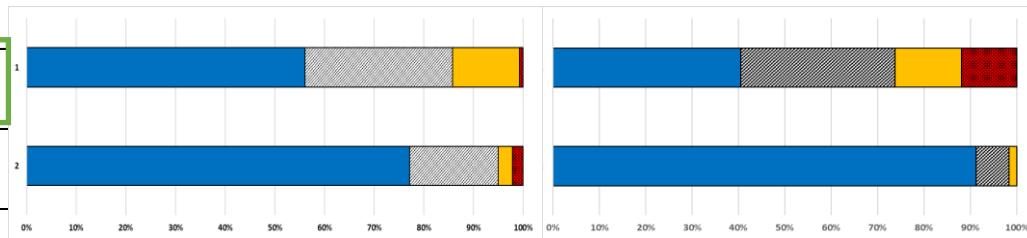
### 【保護者】

- 1 子どものお手本となるよう、地域の方々にあいさつをするよう心がけている。
- 2 学校教育の中で、地域の方々にお世話をなっていることを理解している。



### 【児童】

- 1 地域の人に積極的にあいさつしている。
- 2 学校で地域の方々にお世話をなっていることを理解している。



### ○保・児【質問2】

生活科や総合的な学習で地域の方や施設の方に大変お世話になりました。子ども達は見学や体験を通して大将軍という地域の理解を深め、自分たちのくらす地域のことを以前よりも好きになったようです。次年度も引き続き、大将軍の子ども達のためにどうぞよろしくお願ひ致します。

## 学校運営協議会より

- ・「子どもが学校からの配付物を渡している」という項目が少し落ちている。最近は学校からの配付物もメールなどで送られるようになっているが、配布物を親子のコミュニケーションの1つのツールにしてほしい。
- ・コロナ禍で減っていた地域学習が回復し、地域のことを学ぶ機会があつたり、普段できない体験ができていたりすることはとても貴重なことだと思う。
- ・「自分のいいところを褒めてもらっている」と回答する児童は増えているのに、「自分のいいところが言える」という項目が増えているのはどういうことなのかなと疑問をもつ。自己肯定感を高めるアプローチを考えていけるといいなと思う。